

2 「大学と保護者との連絡会」への援助



全体総括

1. 開催期間 2018年9月1日～10月6日
2. 開催地 全国20会場
3. 参加者

保護者合計 学部1,478世帯(2,012名)、大学院2世帯(3名)

全国各地区会場(17会場)258世帯(380名)、大学院2世帯(3名)

東京・横浜会場(3会場)1,220世帯(1,632名)

教職員 36名(全国各地区への派遣者数)

4. 今年度の結果と特徴

- ① 学部全体の出席世帯数は1,478世帯と前年比2.8%減、在籍者数に対する出席率は21.7%と昨年より0.9%減であった。学年別では、1年生の保護者が最も多く529世帯で前年比3.6%減、入学者の多かった現2年生が396世帯と昨年より16.1%増、3年生が362世帯で16.6%減、4年生が191世帯で2.6%減であった。
- ② 大会会場は、世田谷キャンパスでは前年比0.4%減で866世帯の方が出席され、横浜キャンパスでは、前年比2.3%増の216世帯、等々力キャンパスでは、前年比11.6%減の138世帯の出席者となった。
- ③ 地区会場については、昨年と同じ17会場を設定・実施した。首都圏以外の出身の在籍者が年々減少していることもあり、今年度の出席世帯数は前年より9.2%減の258世帯となった。
- ④ 保護者との懇談では、求人状況も回復傾向にあるもののUターンを含む就職関係の話題が一番関心を持たれたようであった。

また、大学院進学、成績に関することや、TAPIについて各会場での話題となり、個別相談も多数あった。

- ⑤ 地区会場では、地区担当の理事・評議員の方々に会の運営等に協力をしていただいた。また、今年度も本学同窓会である東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願ひ、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただいた。また、会場によっては県の労働雇用課の方にご出席いただいた。

学 科	2018	2017
機械工学科	112	95
機械システム工学科	80	84
原子力安全工学科	37	34
医用(生体医)工学科	70	68
電気電子工学科	71	76
エネルギー化学科	53	46
建築学科	86	97
都市工学科	92	82
情報科学科	82	86
情報通信(ネットワーク)工学科	64	75
経営システム工学科	80	86
自然科学科	39	39
環境情報学科	0	0
情報メディア学科	0	0
環境創生学科	46	62
環境マネジメント学科	50	45
社会メディア学科	53	42
情報システム学科	67	62
都市生活学科	98	110
児童学科	40	37
合 計	1,220	1,235

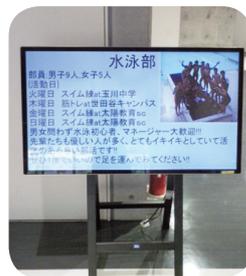
詳細については、後援誌TCU-COM59号(2019年1月刊行)をご覧ください。

3 大学行事への協力援助

大学行事名	援助対象	金額(円)
1 体育祭(5月8日～9日)	体育会	575,100
2 横浜祭(6月9日～10日)	横浜祭実行委員会	1,400,000
3 等々力祭(11月3日～4日)	等々力祭実行委員会	1,100,000
4 世田谷祭(11月3日～4日)	世田谷祭実行委員会	900,000
合 計		3,975,100

4 学生厚生援助

援助内容	金額(円)
1 世田谷・液晶ディスプレイ購入(2台)	696,600
2 世田谷・14号館・18号館 製氷機購入(各1台)	1,049,760
3 朝活応援企画100円朝食(2019年1月30日まで実施)	2,250,500
4 組み立て式ステージ(8台)	299,916
合 計	4,296,776



1) 液晶ディスプレイ(2台)



2) 製氷機(2台)

- 3) 400円相当の朝食に対して、後援会より100円×喫食数を補助し(大学が200円を補助)、3キャンパス合計22,505食を提供した。

- 4) 学生団体の新入生歓迎行事、学園祭、クリスマスコンサート等イベント用に援助した。



4) 組み立て式ステージ(写真は4台使用)

5 会誌の発行

会 誌 号	金額(円)
1 TCU-COM 58号を刊行(8月中旬全会員へ送付)	1,099,440
2 TCU-COM 59号を刊行(1月下旬全会員へ送付)	2,311,200
合 計	3,410,640

過去5年間の在学生クラブ加入率

